

## 新しい政治体制展望、職場革新懇運動の前進に奮闘しよう!

私たちは今日から 2020 年度の活動に入ります。この 1 年、総会アピール「次の 10 年へ 状況を変えよう!」の初年度として多彩な活動を重ね、「私たちの運動で“山が動いた”」をさらに一歩進めることができました。引き続き、この積み重ねを大切にして、「次の 10 年、2 年目」の活動を展開していきましょう。

### 野党連合政権への展望! 新たな効率化に反対し、職場革新懇運動を前進させよう!

参議院選挙では全国 32 の 1 人区の 10 選挙区で野党統一候補が勝利、「改憲勢力 3 分の 2」を阻止しました。沖縄・埼玉・岩手県知事選挙でも野党統一候補が勝利、この力を衆議院選に発展させようという情勢も進んでいます。消費税増税によって中小企業の倒産・廃業増加・消費不況・マイナス経済成長が進んでいます。臨時国会での就任早々の 2 大臣の辞任、文科大臣の「身にあった」発言の大学入試英語試験の延期、「桜を見る会」問題の政治の私物化、政治資金規正法・公選法違反の買収疑惑、虚偽答弁・公文書破棄などアベ政権の悪政に対し、国民の怒りは爆発、「アベ退陣」の声はますます広がり、野党と市民の共闘で新しい政治体制＝野党連合政権への展望も拓かれつつあります。

大阪ではとりわけ、維新勢力に対する「都構想」「万博カジノはあかん! 夢洲は危険!」の闘いも課題です。

損保産業では「災害列島日本」と言われる相次ぐ大型台風・洪水・地震災害で巨額の保険金を支払いました。この担い手は損保労働者と損保代理店です。各社とも一層の AI 化・IT 化で人減らし合理化を進めようとしています。「損保ジャパン日本興亜」は来年 4 月、社名を「損保ジャパン」に変更します。「合併後、日本興亜社のすべてを吸い上げたからもう社名を残す必要はない」が本音でしょう。同社は発足前後 3 年間に 4800 名のリストラを実行したと言われていています。今度は「20 年度末までに IT 効率化で 4000 名リストラへ、希望退職を薦めず介護部門へ配置転換」としました。

これは前回のような希望退職募集をおこなわずに配転拒否者を自己都合退職に追いやり、早期退職割増金を無くする新たな巧妙な効率化政策です。これが経済同友会代表を送り出している企業の「ビヘイビア(ふるまい)」です。

いま、損保産業に問われ、期待されていることは予測される東海・南海トラフに対して「ライフライン産業」としての社会的役割の発揮に十分に対応できる体制の構築を急ぐことではないでしょうか。

私たちはこの 2・3 年、「私たちの運動で“山が動いた”」という状況を作り出しています。

私たちの組織の現状は、①損保産業と雇用関係にある現役会員②雇用関係があった OB 会員③雇用関係がない独立自営経営者でもある損保代理店会員が「コラボして多様多彩な活動を進めているユニークな職場革新懇になりつつある」と言えるでしょう。「働きかた改革」が進められている情勢の下で政党・労働組合・地域革新懇・各団体の垣根を超えた「働きかた」「過労死」問題は職場革新懇運動にとっても大切な課題です。これからも一層の職場革新懇運動の前進と発展のために奮闘を誓いあいましょう。

2019年 12 月 12 日

大阪損保革新懇第 22 回総会